

変更の事由及び時期等を記載した書類

事 項		記 入 欄				備考		
フリガナ設置者		コクリツダイガクホウジキョウトダイガク 国立大学法人京都大学						
フリガナ大学の名称		キョウトダイガク 京都大学						
大学の位置		京都府京都市左京区吉田本町						
変更の内容		工学部工業化学科の学科名称を理工化学科に変更する。						
変更の事由		<p>工業化学科の名称は、1914年の学科設置時に社会要請である工業との関連性が重視されたことに由来する。以後、我が国の産業の発展と質的な躍進に対応して、工業化学科のほか石油化学科、化学工学科、高分子化学科、合成化学科などが設置されたが、高度化・学際化した科学技術に対する社会要請に応じた幅広い教育とより高度な研究を実現するため、1993（平成5）年に5学科に分化する前の工業化学科として1学科に統合され、現在に至っている。</p> <p>1993年の学科統合においては、当時の社会要請として、持続可能な開発のために地球規模の課題への対応が求められる工業に対して、創造的な基礎技術・先端技術の開発や学際領域の研究の推進により応じることも含まれていた。以降、本学科は、環境やエネルギー問題など地球規模の課題にまで高度に多様化した社会の要請に応えることのできる高度かつ学際的な知識を修得した研究者並びに技術者を多く養成してきた。</p> <p>しかしながら、近年、地球温暖化など身近な現象として地球規模の課題への一般の関心が高まるとともに、「工業」という語は豊かさをもたらす反面、開発を重視し自然を収奪してきたという負のイメージも一般には強く連想されるようになった。その結果、現在の学科名称では、「工業」という語の連想から、環境やエネルギー問題など地球規模の課題を扱わない学科という誤ったイメージを与えるおそれが生じている。</p> <p>こうした齟齬を解消するため、基礎化学（Chemical Science）と工学（Chemical Technology）を連携させて社会の課題に向き合うという本学科の理念を「理工」という語で示し、本学科の理念及び教育研究内容をより明確に発信するため、学科名称を「理工化学科」に変更することとした。なお、学科名称の変更に伴う教育課程の変更は予定していない。</p>						
変更の時期		令和6年4月1日						
取得・処分等する土地・建物	取得する土地	土地の位置				該当無し		
		用途						
		土地の面積（うち校地面積）	専用	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	共用	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )		
	処分する土地	土地の位置				該当無し		
		用途						
		土地の面積（うち校地面積）	専用	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	共用	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )		
	重要な変更をする土地	土地の位置				該当無し		
		用途						
		土地の面積	専用	m <sup>2</sup> (変更前 m <sup>2</sup> )	共用	m <sup>2</sup> (変更前 m <sup>2</sup> )		
		土地のうち校地に係る面積	専用	m <sup>2</sup> (変更前 m <sup>2</sup> )	共用	m <sup>2</sup> (変更前 m <sup>2</sup> )		
	取得する建物	建物の位置				該当無し		
		用途						
		建物の面積（うち校舎面積）	専用	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	共用	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )		
	処分する建物	建物の位置				該当無し		
		用途						
		建物の面積（うち校舎面積）	専用	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	共用	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )		
重要な変更をする建物	建物の位置				該当無し			
	用途							
	建物の面積	専用	m <sup>2</sup> (変更前 m <sup>2</sup> )	共用	m <sup>2</sup> (変更前 m <sup>2</sup> )			
	建物のうち校舎に係る面積	専用	m <sup>2</sup> (変更前 m <sup>2</sup> )	共用	m <sup>2</sup> (変更前 m <sup>2</sup> )			
校地等	専 用	1,048,552 m <sup>2</sup> (変更前 1,048,552 m <sup>2</sup> )	共 用	0 m <sup>2</sup> (変更前 0 m <sup>2</sup> )	共用する他の 学校等の専用	0 m <sup>2</sup> (変更前 0 m <sup>2</sup> )	計	1,048,552 m <sup>2</sup> (変更前 1,048,552 m <sup>2</sup> )

校 舎		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
		1, 190, 017 m <sup>2</sup> (変更前 1, 190, 017 m <sup>2</sup> )		0 m <sup>2</sup> (変更前 0 m <sup>2</sup> )		0 m <sup>2</sup> (変更前 0 m <sup>2</sup> )		1, 190, 017 m <sup>2</sup> (変更前 1, 190, 017 m <sup>2</sup> )		
教 室 等		室 数			教員研究室		室 数			
		1, 5 8 9 室 (変更前 1,589 室)					1, 8 1 6 室 (変更前 1,816 室)			
状 況 既設 大学等 の	大学の名称									
	学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	開設 年度	所在地
		年	人	年次 人	人		倍			
学部	総合人間学部									京都市左京区 吉田二本松町
	総合人間学科		4	120	—	480	学士 (総合人間学)	1.20	平成 15 年度	
	文学部									京都市左京区 吉田本町
	人文学科		4	220	—	880	学士 (文学)	1.16	平成 7 年度	
	教育学部									京都市左京区 吉田本町
	教育科学科		4	60	3 年次 10	260	学士 (教育学)	1.09	平成 10 年度	
	法学部									京都市左京区 吉田本町
	経済学部									京都市左京区 吉田本町
	経済経営学科		4	240	3 年次 20	1,000	学士 (経済学)	1.07	平成 21 年度	
	理学部									京都市左京区 北白川追分町
	理学科		4	311	—	1,244	学士 (理学)	1.13	平成 6 年度	
	医学部									京都市左京区 吉田近衛町
	医学科		6	107	—	642	学士 (医学)	1.03	明治 32 年度	
	人間健康科学科		4	100	2 年次 17	451	学士 (人間健康科学)	0.99	平成 20 年度	
	薬学部									京都市左京区 吉田下阿達町 46-29
	薬科学科		4	65	—	260	学士 (薬科学)	1.11	平成 18 年度	
	薬学科		6	15	—	90	学士 (薬学)	1.08	平成 18 年度	
	工学部									京都市左京区 吉田本町
地球工学科		4	185	—	740	学士 (工学)	1.06	平成 8 年度		
建築学科		4	80	—	320	学士 (工学)	1.08	平成 8 年度		
物理工学科		4	235	—	940	学士 (工学)	1.07	平成 6 年度		
電気電子工学科		4	130	—	520	学士 (工学)	1.10	平成 7 年度		
情報学科		4	90	—	360	学士 (工学)	1.15	平成 7 年度		
工業化学科		4	235	—	940	学士 (工学)	1.10	平成 5 年度		
農学部									京都市左京区 北白川追分町	
資源生物科学科		4	94	—	376	学士 (農学)	1.06	平成 13 年度		
応用生命科学科		4	47	—	188	学士 (農学)	1.04	平成 13 年度		
地域環境工学科		4	37	—	148	学士 (農学)	1.10	平成 13 年度		
食料・環境経済学科		4	32	—	128	学士 (農学)	1.12	平成 13 年度		
森林科学科		4	57	—	228	学士 (農学)	1.06	平成 13 年度		
食品生物科学科		4	33	—	132	学士 (農学)	1.04	平成 13 年度		
研究科	文学研究科									京都市左京区 吉田本町
	文献文化学専攻									
	博士前期課程 (M)		2	33	—	66	博士 (文学)	0.75	平成 8 年度	
	博士後期課程 (D)		3	18	—	54		1.05		
	思想文化学専攻								平成 8 年度	
	博士前期課程 (M)		2	20	—	40		1.42		
	博士後期課程 (D)		3	11	—	33		1.48		
	歴史文化学専攻								平成 8 年度	
	博士前期課程 (M)		2	20	—	40		1.25		
	博士後期課程 (D)		3	11	—	33		1.42		
行動文化学専攻								平成 8 年度		

博士前期課程 (M)	2	18	—	36		1.91			
博士後期課程 (D)	3	10	—	30		1.03			
現代文化学専攻							平成8年度		
博士前期課程 (M)	2	9	—	18		1.11			
博士後期課程 (D)	3	5	—	15		1.20			
京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻							平成29年度		
博士前期課程 (M)	2	10	—	20		1.05			
教育学研究科									
教育学環専攻					修士 (教育学)		平成30年度	京都市左京区	
博士前期課程 (M)	2	42	—	84	博士 (教育学)	1.07		吉田本町	
博士後期課程 (D)	3	25	—	75		1.10			
法学研究科									
法政理論専攻					修士 (法学)		平成16年度	京都市左京区	
博士前期課程 (M)	2	21	—	42	博士 (法学)	0.80		吉田本町	
博士後期課程 (D)	3	24	—	72		0.98			
法曹養成専攻					法務博士 (専門職)		平成16年度		
専門職学位課程 (P)	3	160	—	480		0.73			
経済学研究科									
経済学専攻					修士 (経済学)		平成20年度	京都市左京区	
博士前期課程 (M)	2	70	—	140	博士 (経済学)	1.05		吉田本町	
博士後期課程 (D)	3	25	—	75		1.29			
京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻					修士 (グローバル経済・地域創造)		令和3年度		
博士前期課程 (M)	2	8	—	16		0.81			
理学研究科									
数学・数理解析専攻					修士 (理学)		平成6年度	京都市左京区	
博士前期課程 (M)	2	52	—	104	博士 (理学)	1.11		北白川追分町	
博士後期課程 (D)	3	20	—	60		0.95			
物理学・宇宙物理学専攻							平成7年度		
博士前期課程 (M)	2	81	—	162		1.04			
博士後期課程 (D)	3	48	—	144		0.96			
地球惑星科学専攻							平成6年度		
博士前期課程 (M)	2	50	—	100		0.76			
博士後期課程 (D)	3	25	—	75		0.86			
化学専攻							平成6年度		
博士前期課程 (M)	2	61	—	122		1.05			
博士後期課程 (D)	3	32	—	96		0.69			
生物科学専攻							平成7年度		
博士前期課程 (M)	2	74	—	148		0.81			
博士後期課程 (D)	3	41	—	123		1.17			
医学研究科									
医学専攻					博士 (医学)		平成18年度	京都市左京区	
博士課程 (D) (4年制)	4	166	—	664		1.02		吉田近衛町	
医科学専攻					修士 (医科学)		平成12年度		
博士前期課程 (M)	2	20	—	40	博士 (医科学)	1.32			
博士後期課程 (D)	3	15	—	45		1.42			
社会健康医学系専攻					博士 (社会健康医学)		平成12年度		
博士後期課程 (D)	3	12	—	36	社会健康医学修士 (専門職)	1.30			
専門職学位課程 (P)	2	34	—	68		1.16			
人間健康科学系専攻					修士 (人間健康科学)		平成19年度		
博士前期課程 (M)	2	70	—	140	博士 (人間健康科学)	1.10			
博士後期課程 (D)	3	25	—	75		1.02			

京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻 博士課程 (D) (4 年制)	4	4	—	16	博士 (ゲノム医学)	0.87	平成 30 年度		
薬学研究科									
薬科学専攻					修士 (薬科学)		平成 22 年度	京都市左京区	
博士前期課程 (M)	2	50	—	100	博士 (薬科学)	1.25		吉田下阿達町	
博士後期課程 (D)	3	12	—	46		1.21		46-29	
薬学専攻					博士 (薬学)		平成 24 年度		
博士課程 (D) (4 年制)	4	8	—	46		0.56			
創発医薬科学専攻					博士 (薬科学)		令和 4 年度		
博士課程 (D) (5 年制)	5	14	—	28	ただし、修士 (薬科学) の授与も可能	0.89			
工学研究科									
社会基盤工学専攻					修士 (工学)			京都市西京区	
博士前期課程 (M)	2	58	—	116	博士 (工学)	1.29	平成 15 年度	京都大学桂	
博士後期課程 (D)	3	17	—	51		1.09			
都市社会工学専攻							平成 15 年度		
博士前期課程 (M)	2	57	—	114		0.99			
博士後期課程 (D)	3	17	—	51		1.29			
都市環境工学専攻							平成 15 年度		
博士前期課程 (M)	2	36	—	72		1.15			
博士後期課程 (D)	3	10	—	30		1.20			
建築学専攻							昭和 28 年度		
博士前期課程 (M)	2	75	—	150		1.11			
博士後期課程 (D)	3	22	—	66		1.00			
機械理工学専攻							平成 17 年度		
博士前期課程 (M)	2	59	—	118		1.00			
博士後期課程 (D)	3	16	—	48		0.87			
マイクロエンジニアリング専攻							平成 17 年度		
博士前期課程 (M)	2	30	—	60		1.16			
博士後期課程 (D)	3	7	—	21		1.09			
航空宇宙工学専攻							平成 6 年度		
博士前期課程 (M)	2	24	—	48		0.93			
博士後期課程 (D)	3	7	—	21		0.47			
原子核工学専攻							昭和 32 年度		
博士前期課程 (M)	2	23	—	46		1.00			
博士後期課程 (D)	3	9	—	27		0.81			
材料工学専攻							平成 6 年度		
博士前期課程 (M)	2	38	—	76		1.11			
博士後期課程 (D)	3	10	—	30		1.16			
電気工学専攻							昭和 28 年度		
博士前期課程 (M)	2	38	—	76		1.11			
博士後期課程 (D)	3	10	—	30		0.63			
電子工学専攻							平成 15 年度		
博士前期課程 (M)	2	35	—	70		0.94			
博士後期課程 (D)	3	10	—	30		0.73			
材料化学専攻							平成 5 年度		
博士前期課程 (M)	2	29	—	58		1.03			
博士後期課程 (D)	3	9	—	27		0.51			
物質エネルギー化学専攻							平成 5 年度		
博士前期課程 (M)	2	39	—	78		1.07			
博士後期課程 (D)	3	11	—	33		1.18			
分子工学専攻							昭和 58 年度		
博士前期課程 (M)	2	35	—	70		0.98			

博士後期課程 (D)	3	10	—	30		1.00	昭和 40 年度		
高分子化学専攻									
博士前期課程 (M)	2	46	—	92		1.06	平成 5 年度		
博士後期課程 (D)	3	15	—	45		0.64			
合成・生物化学専攻							昭和 40 年度		
博士前期課程 (M)	2	32	—	64		1.10			
博士後期課程 (D)	3	10	—	30		1.16			
化学工学専攻									
博士前期課程 (M)	2	34	—	68		1.02			
博士後期課程 (D)	3	7	—	21		0.71			
農学研究科					修士 (農学)		昭和 28 年度	京都市左京区 北白川追分町	
農学専攻					博士 (農学)				
博士前期課程 (M)	2	33	—	66		1.03	平成 8 年度		
博士後期課程 (D)	3	8	—	24		0.66			
森林科学専攻							平成 9 年度		
博士前期課程 (M)	2	58	—	116		1.17			
博士後期課程 (D)	3	20	—	57		0.94	平成 8 年度		
応用生命科学専攻									
博士前期課程 (M)	2	63	—	126		0.90	平成 7 年度		
博士後期課程 (D)	3	17	—	51		0.92			
応用生物学専攻							平成 8 年度		
博士前期課程 (M)	2	52	—	104		1.28			
博士後期課程 (D)	3	17	—	51		0.88	平成 7 年度		
地域環境科学専攻									
博士前期課程 (M)	2	40	—	80		1.28	平成 7 年度		
博士後期課程 (D)	3	12	—	39		0.87			
生物資源経済学専攻							平成 7 年度		
博士前期課程 (M)	2	24	—	48		0.95			
博士後期課程 (D)	3	8	—	24		1.54	平成 13 年度		
食品生物学専攻									
博士前期課程 (M)	2	33	—	66		1.01			
博士後期課程 (D)	3	8	—	24		0.66			
人間・環境学研究科							令和 5 年度	京都市左京区 吉田二本松町	
人間・環境学専攻					修士 (人間・環境学)				
博士前期課程 (M)	2	164	—	164	博士 (人間・環境学)	0.85			
博士後期課程 (D)	3	68	—	68		1.00			
エネルギー科学研究科							平成 8 年度	京都市左京区 吉田本町	
エネルギー社会・環境 科学専攻					修士 (エネルギー科学)				
博士前期課程 (M)	2	29	—	58	博士 (エネルギー科学)	1.22	平成 8 年度		
博士後期課程 (D)	3	12	—	36		0.69			
エネルギー基礎科学専攻							平成 8 年度		
博士前期課程 (M)	2	42	—	84		1.07			
博士後期課程 (D)	3	12	—	36		1.38	平成 8 年度		
エネルギー変換科学専攻									
博士前期課程 (M)	2	25	—	50		1.04	平成 8 年度		
博士後期課程 (D)	3	4	—	12		1.58			
エネルギー応用科学専攻							平成 8 年度		
博士前期課程 (M)	2	34	—	68		1.00			
博士後期課程 (D)	3	7	—	21		0.33			
アジア・アフリカ地域研 究研究科									
東南アジア地域研究専攻					博士 (地域研究)		平成 10 年度	京都市左京区 吉田下阿達町 46	
博士課程 (D) (5 年制)	5	10	—	50	ただし、修士 (地域 研究) の授与も可能	1.06			
アフリカ地域研究専攻							平成 10 年度		

博士課程 (D) (5 年制) グローバル地域研究専攻	5	12	—	60		0.96	平成 21 年度		
博士課程 (D) (5 年制)	5	8	—	40		1.12			
情報学研究科 情報学専攻					修士 (情報学) 博士 (情報学)		令和 5 年度	京都市左京区 吉田本町	
博士前期課程 (M)	2	240	—	240		0.91			
博士後期課程 (D)	3	60	—	60		0.61			
生命科学研究所 統合生命科学専攻					修士 (生命科学) 博士 (生命科学)		平成 11 年度	京都市左京区 吉田近衛町	
博士前期課程 (M)	2	40	—	80		0.98			
博士後期課程 (D)	3	19	—	57		0.71			
高次生命科学専攻							平成 11 年度		
博士前期課程 (M)	2	35	—	70		1.17			
博士後期課程 (D)	3	14	—	42		1.52			
総合生存学館 総合生存学専攻					博士 (総合学術) ただし、修士 (総合 学術) の授与も可能		平成 25 年度	京都市左京区 吉田中阿達町 1	
博士課程 (D) (5 年制)	5	20	—	100		0.83			
地球環境学舎 地球環境学専攻					修士 (地球環境学) 博士 (地球環境学)		平成 14 年度	京都市左京区 吉田本町	
博士後期課程 (D)	3	13	—	39		1.43			
環境マネジメント専攻							平成 14 年度		
博士前期課程 (M)	2	44	—	88		1.07			
博士後期課程 (D)	3	7	—	21		1.42			
公共政策教育部 公共政策専攻					公共政策修士 (専門職)		平成 18 年度	京都市左京区 吉田本町	
専門職学位課程 (P)	2	40	—	80		1.10			
経営管理教育部 経営科学専攻					博士 (経営科学)		平成 28 年度	京都市左京区 吉田本町	
博士後期課程 (D)	3	7	—	21		1.28			
経営管理専攻					経営学修士 (専門職)		平成 18 年度		
専門職学位課程 (P)	2	100	—	200		1.08			

※「取得・処分等する土地・建物」の欄については、土地や建物の位置ごとにまとめて記入してください。  
(ただし、まとめて記入し難い場合又は位置が2カ所以上にわたっている場合には、適宜欄を増やして記入してください。)

(参考)

## ○収容定員の充足状況

大学・学部等名	収容定員	学生数 (令和5年5月1日現在)	収容定員 充足率	備考
京都大学				
総合人間学部 総合人間学科	480	578 《525》	1.20 《1.09》	
文学部 人文学科	880	1,029 《927》	1.16 《1.05》	
教育学部 教育科学科	260	284 《272》	1.09 《1.04》	
法学部	1,340	1,434 《1,346》	1.07 《1.00》	
経済学部 経済経営学科	1,000	1,071 《1,002》	1.07 《1.00》	
理学部 理学科	1,244	1,411 《1,320》	1.13 《1.06》	
医学部 (合計)	1,093	1,113 《1,088》	1.01 《0.99》	
医学科	642	664 《655》	1.03 《1.02》	令和5年4月 収容定員変更 変更前収容定員：640人 変更後収容定員：642人
人間健康科学科	451	449 《433》	0.99 《0.96》	
薬学部 (合計)	350	387 《369》	1.10 《1.05》	【薬科学科、薬学科の収容定員 充足率について】 薬学部は、4年進級時に学科へ の配属が決定されるため、1年 次から第3年次までの学生を含 めた学科ごとの在学学生数を算出 できない。そのため、1年次から 3年次までの在学学生数を1年 次から3年次までの収容定員に 相当する数で案分し、これに4 年次以降の在学学生数を加え たうえで、収容定員充足率を計算 している。
薬科学科	260	289 《278》	1.11 《1.06》	令和5年4月 収容定員変更 変更前収容定員：105人 変更後収容定員：90人

薬学科	90	98 《91》	1.08 《1.01》	
工学部 (合計)	3,820	4,178 《3,986》	1.09 《1.04》	
地球工学科	740	785 《752》	1.06 《1.01》	
建築学科	320	347 《333》	1.08 《1.04》	
物理工学科	940	1,012 《974》	1.07 《1.03》	
電気電子工学科	520	577 《550》	1.10 《1.05》	
情報学科	360	415 《391》	1.15 《1.08》	
工業化学科	940	1,042 《986》	1.10 《1.04》	
農学部 (合計)	1,200	1,285 《1,246》	1.07 《1.03》	
資源生物科学科	376	400 《386》	1.06 《1.02》	
応用生命科学科	188	196 《194》	1.04 《1.03》	
地域環境工学科	148	164 《158》	1.10 《1.06》	
食料・環境経済学科	128	144 《136》	1.12 《1.06》	
森林科学科	228	243 《236》	1.06 《1.03》	
食品生物科学科	132	138 《136》	1.04 《1.03》	

※《》内は、修業年限超過学生を控除した場合及び「大学、短期大学及び高等専門学校  
の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項を適用した場合の学生数及び収容  
定員充足率

#### ○授業計画書の作成・公表に係る取組の概要及び公表方法

平成21年度に授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を記載した「シラバス標準モデルと作成要領」を策定（最終改正：令和4年12月）し、授業の概要・目的等を記載したシラバスを作成している。

シラバスは、前年度の3月中旬にKULASIS（教務情報システム）上で学内外に公開しており、そのシラバスを参考に学生が履修する授業科目の選択及び登録を行っている。

KULASIS(教務情報システム)

[https://www.k.kyoto-u.ac.jp/external/open\\_syllabus/top](https://www.k.kyoto-u.ac.jp/external/open_syllabus/top)



### ○GPA 等の客観的な指標の設定や運用に係る取組の概要及び公表方法

平成28年度以降のカリキュラムが適用される学生を対象に「京都大学学士課程におけるGPA制度の導入について」を策定し、各学部で運用している。併せて、「履修取消制度」も導入し、学生の申請により学期の途中に科目の履修登録を取り消すことができるよう整備している。

また、GPAの算出方法については、各学部の「履修の手引き」等に記載の上、学生への配付、本学Webサイトに掲載するなど、学外者でも内容を確認することができる。

学生が自身のGPAを含む学業成績表をKULASIS上で確認できる仕組みを整備して学生の自律的な学修を促進するとともに、学生に対する学修指導に活用する運用を行っている。

京都大学ホーム>教育・学生支援>教育の体制と内容>成績評価とGPA制度  
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/grading-gpa>

### ○大学等が主体的に実施する成績不振の学生への個別指導に係る取組の概要

各学部において定めた基準に基づいて、成績不振の学生の把握を行い、個別指導を実施している。

具体的には、指導教員やクラス担任が成績不振の学生に面談を行い、学業成績表を渡して学修状況や生活状況を聞き取って今後の学修計画について相談に乗る、あるいは成績が基準に達しない学生の保護者に学業成績表を送付して保護者も含めた三者面談を実施するなどの取組を行っている。また、全学の学生相談室において成績も含めた幅広い悩みの相談に対応しているほか、学部独自に相談室を設置している例もある。

京都大学ホーム>京都大学について>公表事項>教育情報の公表>修学、進路選択、心身の健康ケア等>1. 修学支援の状況  
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/publication/publish-education/support>